



# CreateGlobal ^%DM の使 用による National Language Support (NLS) の照合の設定

Version 5.1  
2006-03-14

CreateGlobal ^%DM の使用による National Language Support (NLS) の照合の設定

Caché Version 5.1 2006-03-14

Copyright © 2006 InterSystems Corporation.

All rights reserved.

このドキュメントは、Sun Microsystems、RenderX Inc.、アドビ システムズ および ワールドワイド・ウェブ・コンソーシアム (www.w3c.org) のツールと情報を使用して、Adobe Portable Document Format (PDF) で作成およびフォーマットされました。主要ドキュメント開発ツールは、InterSystemsが構築したCaché と Javaを使用した特別目的のXML処理アプリケーションです。



Caché 製品とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です。



Ensemble 製品とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です。



InterSystems という名前とロゴは InterSystems Corporation の登録商標です

このドキュメントは、インターシステムズ社(住所: One Memorial Drive, Cambridge, MA 02142)あるいはその子会社が所有する企業秘密および秘密情報を含んでおり、インターシステムズ社の製品を稼動および維持するためにのみ提供される。この発行物のいかなる部分も他の目的のために使用してはならない。また、インターシステムズ社の書面による事前の同意がない限り、本発行物を、いかなる形式、いかなる手段で、その全てまたは一部を、再発行、複製、開示、送付、検索可能なシステムへの保存、あるいは人またはコンピュータ言語への翻訳はしてはならない。

かかるプログラムと関連ドキュメントについて書かれているインターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載されている範囲を除き、ここに記載された本ドキュメントとソフトウェアプログラムの複製、使用、廃棄は禁じられている。インターシステムズ社は、ソフトウェアライセンス契約に記載されている事項以外にかかるソフトウェアプログラムに関する説明と保証をするものではない。さらに、かかるソフトウェアに関する、あるいはかかるソフトウェアの使用から起こるいかなる損失、損害に対するインターシステムズ社の責任は、ソフトウェアライセンス契約にある事項に制限される。

前述は、そのコンピュータソフトウェアの使用およびそれによって起こるインターシステムズ社の責任の範囲、制限に関する一般的な概略である。完全な参照情報は、インターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載され、そのコピーは要望によって入手することができる。

インターシステムズ社は、本ドキュメントにある誤りに対する責任を放棄する。また、インターシステムズ社は、独自の裁量にて事前通知なしに、本ドキュメントに記載された製品および実行に対する代替と変更を行う権利を有する。

Caché および InterSystems Caché、Caché SQL、Caché ObjectScript および Caché Object は、インターシステムズ社の商標です。

ここで使われている他の全てのブランドまたは製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

インターシステムズ社の製品に関するサポートやご質問は、以下にお問い合わせください:

InterSystems ワールドワイド カスタマサポート

Tel: +1 617 621-0700

Fax: +1 617 374-9391

Email: support@InterSystems.com

# 目次

CreateGlobal ^%DM の使用による National Language Support (NLS) の照合の設定.....	1
1 サポート対象の照合 .....	2



# CreateGlobal ^%DM の使用による National Language Support (NLS) の照 合の設定

このドキュメントは、Caché で NLS と連動して使用するために修正照合でグローバルを作成する方法を説明します。

Caché 4.1 以降、新規に作成されたグローバルの照合は、グローバルが作成されたデータベースの既定の照合に自動的に設定されています。データベースが作成されるとき、データベースの既定の照合を Caché 標準か、システムにインストールされている照合のうちの 1 つに設定することができます。データベースの既定の照合が一度設定されると、このデータベースで作成されたすべてのグローバルは、この既定の照合で作成されます。

データベースで作成されたすべてのグローバルは、データベースの既定の照合を持つので、Caché もこの振る舞いをオーバーライドする機能をサポートします。これを行うには、CreateGlobal ^%DM ルーチンを使用して、希望の照合でグローバルを作成します。

```
CreateGlobal ^%DM(ns,global,collation,protect,journal,keep,ptrblk,growthblk)
```

以下を示します。

- ・ ns— ネームスペースを指定します。“” は現在のネームスペースを示し、“^directoryname” は特定のディレクトリを参照します。
- ・ global— cz2 などの、先頭に “” を含むグローバル名を指定します。
- ・ collation— 照合を指定します。照合は、[サポート対象の照合](#)のうちのどれか 1 つです。
- ・ protect— グローバルに対する保護属性を指定します。既定の保護 (RWD,N,N,RWD) は 195 です。通常、このパラメータは指定しません。
- ・ journal— 構成マネージャの [詳細] タブの [ジャーナル・モード] で選択グローバル・オプションが設定されている場合、グローバルがジャーナルされるかを指定します。0 の場合、ジャーナルを実行せず、1 の場合は実行します。通常、このパラメータは指定しません。
- ・ keep— グローバルが削除されるときに、グローバルのディレクトリ・エントリを保持するかどうかを指定します。1 に設定すると、グローバルが削除されるときに照合、保護、およびジャーナル属性を保持します。通常、このパラメータは指定しません。
- ・ ptrblk— ポインタの開始ブロックを指定します。通常、このパラメータは指定しません。
- ・ growthblk— データの開始ブロックを指定します。通常、このパラメータは指定しません。

グローバルが他のグローバルとは異なる照合を必要とする環境では、インターシステムズはデータベースを異なる照合ごとに設定することをお勧めします。そうすれば、必要な照合を持つデータベースに各グローバルをマップするグローバル・マッピングをネームスペースに追加することができます。このメソッドによって、CreateGlobal%DM API を使用したアプリケーション・コードを変更することなく、照合を混合して使用することができます。

注釈: Caché の従来のバージョンでは、新規に開発されたグローバルは、そのグローバルを作成するプロセスの既定の照合を持ちます。照合設定のこのメソッドは、現在はサポートされていません。

# 1 サポート対象の照合

以下は、CreateGlobal%DM ルーチンの照合引数で使用される、Caché でサポートされている照合です。

- ・ 5—Cache standard
- ・ 10—German1
- ・ 11—Portuguese1
- ・ 12—Polish1
- ・ 13—German2
- ・ 14—Spanish1
- ・ 15—Danish1
- ・ 17—Greek1
- ・ 18—Czech1
- ・ 19—Czech2
- ・ 20—Portuguese2
- ・ 21—Finnish1
- ・ 22—Japanese1
- ・ 23—Cyrillic2
- ・ 24—Polish2
- ・ 26—Chinese2